

10月9日（水）2年生学年朝礼

おはようございます

今月の目標は「環境の美化」です。みなさんは自分たちの使っている教室やトイレの掃除を毎日行っています。4月にオーストラリアから姉妹校の生徒たちがやってきて、初めて学校の掃除をして驚いていましたね。また、英語の教科書でも、SDGs 持続可能な社会の実現を目指し、地球環境を守るためよく考えて行動することの大切さを学んだり、「テッセイ」が、7分間で新幹線掃除を仕上げられるのは、その技術だけでなく、私たち日本人の身の回りをきれいにする文化のなせる技だということも学んだりもしました。私たち一人ひとりの心がけが、気持ちよく生活できる環境作りの一翼を担っています。

大谷選手が大リーグのグラウンドでゴミを拾うシーンを見たことがありますか。昨年のアースデイ、地球の環境保護を支援するイベントの日に、メジャーリーグの公式SNSが大谷選手のゴミ拾いのシーンをまとめたムービーを公開したほどです。「我らの掃除王」Our Clean Kingと賞賛されていました。この姿勢は、花巻東高校の時から培われたもので、練習後には必ずグラウンド整備、草むしり、試合に負けた翌日も仲間と一緒にグラウンド掃除をするのが習慣だったそうです。また監督から「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾うんだ。それが自分自身にツキを呼ぶことになる」という教えを受けたそうです。今の大谷選手の活躍を考えれば、高校時代に身につけたこと、実行してきたことは、その人の一生の財産になることは一目瞭然ですね。

皆さんは帝京大学のラグビー部の強さを知っていますか。これまでに全国大会で12回優勝していますが、初めから強かったわけではありません。強くなった秘密の1つといわれるのは4年生の意識改革です。それは、4年生が率先してトイレ掃除や共に暮らす寮内の掃除を行うようになったことです。1年生は入学したばかりで心に余裕がない時なので、まず自分のことをコントロールすることに集中する。上級生になるにつれ、全体を見て行動したり、下級生を励ましたりするリーダーシップが養われていく。上級生が模範を示すことで、下級生に対して「自分たちもやらなければ」という意識を芽生えさせることができるという理由だそうです。みなさんも1年生のとき、そうじや道具運びをやってきて、下級生の大変さを知っているでしょう。それを3年間続けられますか？弱かった当時の帝京大の4年生がチームのために意識を変えて、下級生のやってきたトイレ掃除を自分たち最上級生がやり始めたことがいかに画期的で、尊いことなのか想像できると思います。

私は毎朝、みなさんが気持ちよく学校生活をスタートできるよう2年生の教室を見回っています。誰もいない教室ですが、それぞれの教室に入るとそのクラスの雰囲気伝わってきます。それは教室の環境が、私にメッセージを与えてくれるからです。机やいすの並べ方、ロッカーの上、中の教科書類の様子、黒板や掲示物の状態、ゴミ箱周辺、清掃道具のおき方が、物言わずとも私に語りかけてくるのです。それは、皆さん自身も無意識のうちに感じ取っていることかもしれません。

最後に大谷選手と同じ高校出身で大リーグで活躍している菊池雄星投手の話をしてします。彼はグラウンドにゴミが落ちている時「これは神様が自分を試しているんだ」と思うそうです。みなさんの足下にゴミが落ちているとき、ゴミを捨てようと思ったからゴミ箱のビニール袋がきちんとかかってなくて、くちゃっとして捨てるににくくなっていたとき、自分の席が他人に使われていて、汚されてしまったとき…菊池投手の考え方によれば、私たちも毎日神様に試されていますね。さあ、みなさんはどうしますか？まさかみなさん、ゴミを落としたり、人の机を汚したりして、自分の運をまき散らして、運を自ら落としたりしている側ではありませんよね…？

ちなみに菊池投手は、これは自分が試されているんだと感じ、迷わずゴミを拾ったそうです。

今月の目標は「環境の美化」です。私たちの小さな行動から始まります。今日から出来ることを始め、共に美しい環境を作りましょう。これで私の話は終わります。